

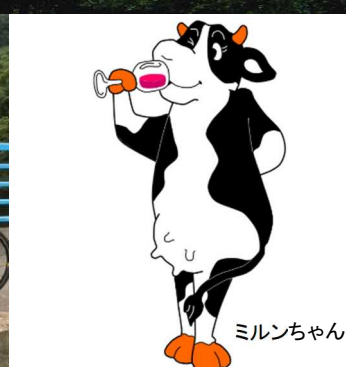
若者の地方体験交流 募集概要

くずまきまち
岩手県葛巻町 (人口 : 5,998 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験

北緯 40 度 ミルクとワインとクリーンエネルギーの町

岩手県葛巻町のまちづくりに興味のある方の応募をお待ちしています！



(体験内容等)

- くずまき型 DMO を中心とした観光地域づくりプロジェクトへの参加
- くずまき高原牧場やくずまきワインなど町の基幹産業の見学や作業体験、イベント参加
- 地域住民や移住者との交流
- その他希望に応じて

(受入期間) ※通年でご相談に応じます。1 回あたり 2 泊 3 日程度を予定

(最寄りの交通機関・所要時間)

東京駅から東北新幹線いわて沼宮内駅まで約 2 時間 30 分
いわて沼宮内駅から葛巻町役場まで車で約 45 分 (ご連絡を頂きましたら担当者が送迎致します。)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 葛巻町の町づくりに興味のある方
- 応募締切 1 年を通じて随時相談に応じています。
- 費用負担 見学案内 : 無料、いわて沼宮内駅までの交通費、宿泊費、体験料 : 自己負担
- 宿泊施設 グリーンテージくずまき (利用料 : 5 千円程度)、くずまき高原牧場プラトー (利用料 : 6 千円程度)
- 食 事 宿泊先において提供 (宿泊費に含む)
- そ の 他 体験内容やスケジュールは、個々の希望に応じてコーディネートいたします。

(担当者から一言)

葛巻町のリアルタイムの情報は、「いらっしやい葛巻推進室」の Facebook ページをご覧ください。実際に現地を訪れる前に、東京で行われる観光や移住交流などのイベントで葛巻町の職員と会って話を聞くこともできます。お気軽にお問い合わせください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 葛巻町役場 総務企画課 移住定住係 高橋真衣
TEL 0195-66-2111 E-mail kuzumaki0106@town.kuzumaki.iwate.jp
URL : <https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/bunya/irasshai/> (HP)
<https://www.facebook.com/irassyaikuzumaki/> (フェイスブック)



HP フェイスブック

若者の地方体験交流 募集概要

よねざわし
山形県米沢市 (人口 : 81,707 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



米沢人との心の交流を通じて、
あなただけの米沢の魅力を
ぜひ感じてください。
きっと素敵な出会い・繋がりが
生まれるはず・・・

(体験内容等)

- ・地域住民との交流 (地域行事・イベントに参加)
- ・農村民泊
- ・そば打ち体験、農作業体験
- ・雪かき体験など、四季を感じながらの日常の暮らし体験

(受入期間) 通年 (1泊2日 or 2泊3日)

(最寄りの交通機関・所要時間)

山交バス : 米沢 (南原) 白布温泉 米沢駅～横道下車 (乗車時間約 25 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 市外在住者で、本市への移住・交流を希望している方
- 応募締切 原則として、希望する日の 2 週間前までに、参加申込書を提出先に送信してください。
- 費用負担 参加費用なし。ただし、交通費は参加者の負担となります。
- 宿泊施設 農家民宿
- 食 事 地域の方々による手料理
- そ の 他 ※お試し暮らし後、体験レポートを提出していただきます。

(担当者から一言)

山形県の最南端に位置する米沢市は、豊かな自然と歴史に恵まれ、四季折々の風情を強く感じることができる地域です。春の咲き誇る桜や夏に色濃い緑の森、近くの間々を彩る秋の紅葉に、すべてを白く包む冬の雪も、地域の方々との交流・農家民泊を楽しみながら堪能できます。米沢ならではの農業体験や自然体験、日常の暮らし体験、ぜひお楽しみください。

(お問合せ先) 〒992-8501 米沢市金池五丁目 2 番 2 5 号

米沢市役所 総合政策課 地域振興担当

TEL 0238-22-5111 内線 2806

FAX 0238-24-4540

E-MAIL chiiki-t@city.yonezawa.yamagata.jp

若者の地方体験交流 募集概要

あしかがし
栃木県足利市 (人口 : 144,457 人)

体験種目 : 地域づくり体験
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

- ・地域イベントの運営サポート (アートイベント「あしかがアートクロス」、門前マルシェなど)
- ・市内企業でのインターンシップ
- ・映像のまち構想に関連した事業サポート
- ・本市の移住定住に関する施策マーケティング調査

(受入期間) 令和2年4月27日～令和3年3月26日

(最寄りの交通機関・所要時間) JR 両毛線足利駅ナカ (足利市移住定住相談センター)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方。
- 応募締切 令和2年4月27日以降、随時申し込み
- 費用負担 参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いします。
- 宿泊施設 市内の宿泊施設(ゲストハウス等)をご紹介します。
- 食 事 各自
- その他 動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

(担当者から一言)

東京から東武伊勢崎線で約1時間、都内からのアクセスもよい足利市。まちなかには歴史を感じられる古民家も残り、20～30代のリターン者の飲食店、カフェ、ゲストハウスなども増えています。春には駅から歩いて回れる範囲でアートイベント「あしかがアートクロス」を開催し、日本最古の足利学校門前では門前マルシェを定期的に行っています。年間60本を超える映画をはじめとした映像制作のロケ地にもなっています。大正から昭和にかけて織物のまちとして栄え、今も中小企業ですが、個性的なモノづくりのまちです。地方に積極的に関わりたい、自分のスキルを活かしたい、そんな若い皆さんのフレッシュなパワーを足利で試してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 足利市 総合政策部 企画政策課 柏瀬 誠

TEL : 0284-20-2275 E-mail : kikaku@city.ashikaga

URL : <http://www.kararikoturn.com>



若者の地方体験交流 募集概要

かしわざきし
新潟県柏崎市 (人口 : 82,753 人)

体験種目 : 地域づくり活動
暮らし・イベント体験



ヒトに学び、ムラに学び、
自分が生きる、未来をつくる



(体験内容等)

- 約 1 か月間、田舎暮らし体験 (インターン) をしながら、住民と一緒にプロジェクトに取り組む。
- 受入れ地域に関するレクチャー (座学、散策を予定)。取り組むプロジェクトに関する講義。
- 様々な住民との交流。地域行事への参加と協力。
- 最終日に、インターン期間中の活動報告会を実施。

(受入期間) 8月上旬～9月上旬の約 1 か月間

(最寄りの交通機関・所要時間)

- JR 信越本線、JR 越後線「柏崎駅」から車で 25 分
- 上越新幹線「長岡駅」から車で 60 分 (駅からの受入れ地域までの送迎はご用意します。)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 主に大学生 (1 か月間、受入れ集落に滞在し、活動できる方)
- 応募締切 7 月上旬予定 ※応募順に対応するため、定員に達した場合は締切が早まる可能性あり
- 費用負担 参加費なし 滞在期間中の生活費は自己負担
- 宿泊施設 集落内の空き家 費用負担なし
- 食 事 共同調理 自己負担
- その他 詳細は、5 月中に下記ホームページに掲載予定です。また、新潟県内複数箇所での実施を予定していますので、そちらもご覧ください。

(担当者から一言)

参加者、地域、行政それぞれにとって、大きな学びの機会となる田舎暮らしインターン。市と「にいがたイナカレッジ」が連携して実施しています。地方で新たな価値観や視点に出会い、自分が大切にしたいこと、そのモノサシを見つけたい。そんな方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 にいがたイナカレッジ 井上、金子
TEL 0258-39-5525 E-mail info@inacollege.jp
URL : <http://inacollege.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

かしわぎし
新潟県柏崎市 (人口 : 82, 753 人)

体験種目 : 地域づくり活動
暮らし・イベント体験



ここで暮らしたい、
住民と一緒にがんばりたい、
そう思える、地域を見つける



(体験内容等)

応募することを決める前に地域に訪れ、現地を体験する「“おためし”地域おこし協力隊」

- 受入れ地域及び協力隊のミッションに関するレクチャー (座学、散策を予定)。
- 住民との交流、共同作業。先輩隊員との意見交換。
- 最終日に、現地体験での気づきやの振り返りを実施。

(受入期間) 2泊3日程度 (日程は、市が申込者と地域に連絡・調整して決定します。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- JR 信越本線、JR 越後線「柏崎駅」から車で 25 分 (駅から受入れ地域までの送迎はご用意します。)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 柏崎市地域おこし協力隊の応募を検討している方。
なお、体験後の応募は必須ではありません。この体験を通じて、改めて応募について検討してください。
- 応募締切 随時。下記担当者に、電話又はメールで、「氏名、住所、連絡先」をお伝えください。
協力隊の募集定員が埋まり次第、申込受付を終了します。
- 費用負担 参加費なし。滞在期間中の生活費は自己負担
- 宿泊施設 集落内の空き家 費用負担なし
- 食 事 自己負担 (交流会も実費を徴収します)
- その他 初回の連絡だけで参加申込は確定しません。まずは気軽にご連絡ください。

(担当者から一言)

地域おこし協力隊の募集記事だけではなく、ぜひ実際に現地を訪れ、地域のリアルに触れてください。そして、そこに居る自分をイメージしてみませんか。人を集めるのが好きな方、人々が行き交う中での暮らしを楽しめる方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新潟県柏崎市市民活動支援課 中村、廣田

TEL 0257-21-2272 E-mail shien@city.kashiwazaki.lg.jp

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp> 「おためし地域おこし協力隊」



若者の地方体験交流 募集概要

おぢやし
新潟県小千谷市 (人口：35,073 人(R2. 2. 28 現在))

体験種目：地域づくり活動
暮らし・イベント体験



私たちと交流しませんか？地域はもちろん、インターンのOB・OGが温かく迎えてくれます。東京で交流会開催。



(体験内容等)

- ・棚田での田植え・稲刈り体験。そして夜は団体の運営する農家民宿で交流会。
- ・7月に開催される全国から集まる自転車イベントでスタッフとして活動。
- ・夏の岩沢祭り・秋の収穫祭での出店補助 ・雪下ろし体験

(受入期間) 通年(イベントごとに)

(最寄りの交通機関・所要時間)

J R 飯山線 岩沢駅下車 徒歩 3分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生・大学院生から年代を問わず参加可能
- 応募締切 イベントごとにフェイスブック(Facebook)で案内
- 費用負担 参加費・宿泊費・交流会費(内容により 3,000 円～15,000 円くらい)
- 宿泊施設 団体の運営する農家民宿に特別価格で宿泊可能
- 食 事 自費(イベント費用に含まれる場合もあり)
- そ の 他 作業着は各自持参。用具の貸し出しはあります。

(担当者から一言)

岩沢は小千谷市の南部に位置する、世帯数 2 5 0 戸の中山間地域です。人口減少と少子高齢化がすすむ中で、何とか地域の維持と活性化を行おうと、平成 24 年に地域おこし団体アチコタネーゼが設立されました。アチコタネーゼは地域内にある美しい棚田を使い田植えや稲刈りの交流ツアーを実施しています。また、交流施設として農家レストラン・農家民宿の運営も行っています。私達と楽しく交流し地域の未来を一緒に考えませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 小千谷市観光交流課 地域振興係 地域づくり支援員 石曽根 徹
TEL 0258-86-2002 E-mail t-ishi@ace.ocn.ne.jp
URL : <https://iwasawa-ojiya.jimdofree.com/>

若者の地方体験交流 募集概要

せきかわむら
新潟県関川村 (人口 : 5,471 人)

体験種目 : 地域づくり活動
暮らし・イベント体験



私たちと一緒に集落を活性化してみたい学生の皆さん、新潟県関川村のインターンシップに参加してみませんか。

(体験内容等)

- ・集落の住民へのあいさつ回りや地域行事の準備・参加等を通して集落の暮らしについて学ぶ。
- ・1ヶ月間まとめ方の検討・アウトプット。
 - ・最終日にインターンを通して得た成果の発表。

(受入期間) 8月上旬から1ヶ月間

(最寄りの交通機関・所要時間) JR 米坂線 越後下関駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 特になし
- 応募締切 7月上旬 (事前申し込みあり)
- 費用負担 無料 (食費は実費)
- 宿泊施設 未定
- 食 事 自炊 (実費)
- そ の 他 不明な点がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

(担当者から一言)

関川村は周りを山々に囲まれ、村の中央には清流「荒川」が流れる自然豊かな村です。1ヶ月間のインターンでは集落に飛び込み、たくさんの人たちと出会い、住民の一員として田舎暮らしを体験することができます。人と話をするのが好きな人、地方の暮らしに興味がある人はおすすめです。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新潟県関川村・総務政策課 観光・地域政策室 米野哲弘
TEL : 0254-64-1478 E-mail : kanko-seisaku@vill.sekikawa.lg.jp
URL : <http://www.vill.sekikawa.niigata.jp>



若者の地方体験交流 募集概要

さばえし
福井県鯖江市 (人口 : 69,350 人)

体験種目 : 地域づくり活動
暮らし・イベント体験



河和田アートキャンプでは夏休みの約一ヶ月間を使い、鯖江市河和田町に滞在し、共同生活をしながら、地域住民と一緒にアートプロジェクト活動を行います。

2020年で16年目となり、参加した学生は約900名。これまで200プロジェクトが河和田地区を舞台に行われてきました。様々な大学に通う学生が集まり、地域の方と交流しながらプロジェクトを実行して行く中で新たな発見や思考の発掘が生まれます。一緒に河和田アートキャンプを作っていきましょう！

(体験内容等)

- 空き家や耕作放棄地など、地域の環境を使った作品制作・展示
- 越前漆器やメガネなど地場産業を活かした作品制作・展示
- 地元小学校や学童での、授業やワークショップの企画・開催
- 9月中旬に地区の秋祭りにて作品の展示発表予定
- 河和田地区の祭り等のイベント、田植え等、年間を通して河和田へ通い、地域行事に参加しています。

(受入期間) 8月中旬～9月中旬

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 北陸本線 鯖江駅下車
車で20分/つじバスで河和田下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生及び大学院生
- 応募締切 随時ご連絡ください。
- 費用負担 15,000円 (夏期キャンペーン期間)
- 宿泊施設 co-minka(河和田町 15-12-1)
- 食 事 参加者で自炊 (食費 : 1日300円×参加日数を回収)
- そ の 他 必要な持ち物等は別途連絡いたします。

(担当者から一言)

さらに詳しい活動内容や、どんなプロジェクトがあるのか、生活の様子を知りたいなど、お気軽にお問い合わせください。詳しく説明いたします。WEBサイトやfacebookも更新しておりますのでご覧ください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 河和田アートキャンプ事務局 石井 瑞紀 (いしい みずき)
鯖江市産業環境部にぎわい推進室 刀祢 可成子 (とね かなこ)
TEL 050-1276-1376、0778-53-2230 E-mail SC-Shoko@city.sabae.lg.jp
URL : <http://aai-b.jp/ac/>



若者の地方体験交流 募集概要

さばえし
福井県鯖江市 (人口 : 69,350 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



めがねのまちさばえで、あなたのふるさどが見えてくる



(体験内容等)

- 集落ぐるみの鳥獣被害対策活動のお手伝い
(イノシシ用電気柵の点検、点検道の整備、ネットの補修、捕獲体験、捕獲檻の点検、シカの痕跡調査、サルの追跡)
- さばえの伝統食文化体験、農業体験、ものづくり体験
(伝統薬味山うにづくり、そば打ち体験、コシヒカリといちほまれの食べ比べ、伝承料理づくり、山菜とり、ジビエ料理体験)
- 山里の暮らし体験と交流
(カキの収穫と干し柿づくり、かご編み体験、稲刈り体験、牛飼い体験、朴葉飯づくり、地域の皆さんとの交流会)

(受入期間) 1泊2日から2泊3日程度 5月～7月頃、9月～11月頃、3月

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 北陸本線鯖江駅下車 (大阪から特急サンダーバード利用 1 時間 50 分、名古屋から特急しらさぎ利用 2 時間)
車利用の場合 北陸自動車道 鯖江 IC 利用

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 旅行保険に加入したグループ (若者や鳥獣被害対策に関心がある人が望ましい)
- 応募締切 地域の活動のニーズと参加者ニーズのマッチングを行うため、適時ご相談ください。
- 費用負担 有 (体験料など)
- 宿泊施設 農家民宿、ラポーゼかわだなど (宿泊補助制度あり)、研究室単位での活動は地元公民館等利用
- 食 事 自炊 自己負担
- そ の 他 作業着、長靴、帽子、手袋、雨合羽をご用意ください。その他必要なものはご連絡します。

(担当者から一言)

めがねのまちさばえでは、平成 24 年 3 月に人と生きもののふるさとづくりマスタープランを策定し、市民主役で取り組む地域ぐるみの鳥獣害対策を進めています。若者の鳥獣害対策ツーリズムを通して、人と人をつなぎ地域を見つめ直しています。地域の人達だけでは見つからない魅力を発掘しに、あなたにとってのさばえのふるさとを探しにいらしてください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 鯖江市鳥獣害のない里づくり推進センター 中田 都 (なかた みやこ)
TEL 0778-51-2110 E-mail SC-Chojugai@city.sabae.lg.
URL : <https://www.facebook.com/さばえのけもの-2230983847125215/>
<https://www.instagram.com/sabaenokemono/>



若者の地方体験交流 募集概要

福井県あわら市 (人口：27,963人)

体験種目：地域づくり活動



(体験内容等)

テーマ【休校舎を活用した地域づくり】

少子高齢化により休校となった小学校のある2つの地域(吉崎地区・新郷地区)に対して、地域活性化拠点としての休校舎の活用策研究・提案を行う。

- 地域行事・まちづくり団体の活動への参加・協力による地域交流(例：まち歩きイベント、夏祭り、マルシェ)
- 廃校を活用したワークショップの企画・開催(マルシェ・カフェ・音楽イベント・展示会等…)
- ホームページや SNS による情報発信 ○ その他休校舎利活用策の提案

(受入期間) 随時受入検討可能(期間応相談)

(最寄りの交通機関・所要時間)

市役所までの経路：JR 北陸本線「芦原温泉駅」下車 徒歩 10 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生・大学院生・社会人 ○ 応募締切 体験希望日の 14 日前まで
- 費用負担 参加費用無料※現地までの交通費・宿泊費・食事代は自己負担
- 宿泊施設
 - ・芦原青年の家(3人以上のグループ)：1泊 550円(26歳未満)
 - ・温泉旅館・民宿：費用は各施設による
 - ・対象地域でのホームステイ・空き家宿泊：費用は要相談
- 食 事
 - ・芦原青年の家：朝・昼・夜食堂食利用可能(有料)
 - ・温泉旅館・民宿：各施設による
 - ・対象地域でのホームステイ・空き家宿泊：自炊・外食・ホームステイ先での食事提供(要相談)
- その他 作業ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

(担当者から一言)

小学校は住民にとって身近な場所で、愛され親しまれてきた地域のシンボルであり、休校となっても地域での持続的な活用が望めます。皆さんの若く新しい視点で、休校舎の新しい活用策や地域課題解決のためのアイデアを提案してください！私たちと一緒に地域を元気にしましょう！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 あわら市役所 総務部政策課 中内 奏太
 TEL 0776-73-8005 E-mail seisaku@city.awara.lg.jp

若者の地方体験交流 募集概要

福井県あわら市 (人口：27,963 人)

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験



テーマ【農泊の推進による持続可能な地域づくり】

波松地区。人口約 620 名、世帯数が約 200 世帯の集落で、日本海に面し、果樹園、砂浜、海岸が広がる自然豊かな地域。少子高齢化が問題となり、休校となった「波松小学校」を地域や関係団体が協力し活用した交流拠点「なみまち CAFE」を中心に、農村滞在型体験コンテンツを提供し、交流人口の拡大による地域活性化を目指している。

(体験内容等)

○地域資源を活用した食事や農泊アクティビティ(農業体験・漁業体験・海釣り・陶芸体験・塩づくり、ビーチクラフト等)の体験 ⇒フィードバック、新たなメニュー・アクティビティの掘起し・提案

○地域行事への参加・協力による地域交流 ○ホームページや SNS による情報発信 ○その他休校舎利活用策の提案

(受入期間) 随時受入検討可能(期間応相談)

(最寄りの交通機関・所要時間) 市役所までの経路：JR 北陸本線「芦原温泉駅」下車 徒歩 10 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生・大学院生・社会人 ○ 応募締切 体験希望日の 14 日前まで
- 費用負担 参加費用無料※現地までの交通費・宿泊費・食事代は自己負担
- 宿泊施設
 - ・芦原青年の家(3 人以上のグループ)：1 泊 550 円(26 歳未満)
 - ・温泉旅館・民宿：費用は各施設による
 - ・対象地域でのホームステイ・空き家・休校舎宿泊：費用は要相談
- 食 事
 - ・芦原青年の家：朝・昼・夜食堂食利用可能(有料)
 - ・温泉旅館・民宿：各施設による
 - ・対象地域でのホームステイ・空き家宿泊：自炊・外食・ホームステイ先での食事提供(要相談)
- そ の 他 作業ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

(担当者から一言)

小学校は住民にとって身近な場所で、愛され親しまれてきた地域のシンボルであり、休校となっても地域での持続的な活用が望まれます。皆さんの若く新しい視点で、休校舎の新しい活用策や地域課題解決のためのアイデアを提案してください！私たちと一緒に地域を元気にしましょう！

(お問合せ先) 団体名・担当部署・担当者名 あわら市役所 総務部政策課 中内 奏太

TEL 0776-73-8005 E-mail seisaku@city.awara.lg.jp

なみまち CAFE： <https://www.facebook.com/namimachicafe/>

なみまち STAY(農泊事業)： https://www.facebook.com/naimatsustay/?modal=admin_todo_tour



若者の地方体験交流 募集概要

うるぎむら
長野県売木村(人口：550人)

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験



おいでなんしょ！

長野県売木村へ。皆さんのアイデアと力を小さな村で発揮してみませんか。



(体験内容等)

- ❖ 売木村を学ぶ (行政、集落、移住・起業者、地域づくり活動等の体験的な学びを予定)。
- ❖ 村内事業所での、インターン(うるぎ自然休養村(観光)、農業生産法人ネットワークうるぎ、道の駅・南信州うるぎ)。
- ❖ 地域催事(イベント、祭り)への参加・協力。
- ❖ 最終日に村民へのインターンシップ報告あり。

(受入期間) 7日～14日 8月3日から9月4日

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 飯田線 温田駅下車 南部公共バス 温田駅前発 売木こまどりの湯行 売木村役場前下車
(バス乗車時間 50分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生及び大学院生
- 応募締切 令和2年6月30日
- 費用負担 無料 ただし現地までの交通費は自己負担
- 宿泊施設 公営施設(簡易宿泊施設) 費用負担なし
- 食 事 一部自己負担あり
- その他 作業、活動ができる服装を用意してください。その他必要な物については別途お伝えします。

(担当者から一言)

売木村は、愛知と長野の県を跨ぐ地域にあり、1000m級の峠に囲まれた盆地の村です。村の人口は550人、このうちの3分の1近くの方々が移住されています。村づくりとしては、農と食と観光の村づくり、走る村プロジェクト、子どもたちの山村留学、村での起業等を掲げています。小さな自治体の地域づくりと向き合ってみませんか。 **売木村へおいでなんしょ！！**

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 長野県売木村 村づくり総合推進室 むらまつますたか 村松益隆
TEL 0260-28-2311 E-mail kankou@urugi.info
URL : <http://www.urugi.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

なんたんし
京都府南丹市 (人口 : 31,475 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験



(体験内容等)

- 農林業体験 (田植え、稲刈り、野菜植えつけ・収穫、草刈り、木こり体験)
- 地域文化体験 (しめ縄づくり、郷土料理)
- 地域行事体験 (お祭り、

(受入期間) 4月1日～3月31日

(最寄りの交通機関・所要時間)

J R山陰本線(嵯峨野線) 園部駅下車 ぐるりんバス又は京阪京都交通「市役所前」下車 (京都駅から約45分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農山村地域への移住を希望される方、農山村地域での田舎暮らしを体験したい方、農山村地域での起業・就業を希望される方
- 応募締切 随時募集
- 費用負担 参加費用なし (ありの場合もあります。)
- 宿泊施設 自己負担
- 食 事 自己負担
- そ の 他 作業できる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途連絡します。

(担当者から一言)

面積が広い分だけ、仕事の幅も広い南丹市。狩猟やジビエ料理のお店をされている方から地域内外の企業に勤める方など、働き方だけでなく、地域ごとの暮らしそのものが多様であることが南丹市の特徴です。美山町の「かやぶきの里」は、年間を通して国内外から数多くの観光客が訪れるので、観光産業も盛んです。JR 京都-園部間も快速電車で37分。園部始発が多く電車で座りながらゆったり通勤・できるのも南丹市のプチ自慢!

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 京都府南丹市 地域振興課 高屋 和真 (たかや かずま)
TEL 0771-68-0019 E-mail chiiki@city.nantan.lg.jp
URL : <http://www.nancla.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

なんたんし
京都府南丹市 (人口 : 31,475 人)

体験種目 : 地域づくり活動
その他



パソグラは
社会に羽ばたいていく若者を
応援しています。



(体験内容等)

- 南丹市を始めとした、様々な地域で実施されているイベント活動のサポート
- 地域の資産を利活用して、地域が発展する企画を計画・提案など...

(受入期間) 4月1日~3月31日

(最寄りの交通機関・所要時間)

参加するクエストによって異なります。詳しくは以下 URL・QR コードから各クエスト内容をご確認ください。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生以上 (高校生以上でも参加できるクエストがあります。)
- 応募締切 随時
- 費用負担 原則なし (ありの場合もあります)
- 宿泊施設 自己負担 (当社負担の場合もあります)
- 食 事 自己負担 (当社負担の場合もあります)
- そ の 他 参加するクエストによって異なります。詳しくは各クエストからご確認ください。

(担当者から一言)

京都府南丹市を始め、様々な地域で「クエスト」と称した、若者が活躍しながらも様々な「学び」やその地域でしか得ることができない「体験」を実施しています。「まちづくり」だけでなく、キャリア育成や地域活動にもご興味・関心がある方はぜひお問い合わせください！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 株式会社バイ・クルーズ 事業推進本部 上田 (うえだ)

TEL 075-223-1185

E-mail kazuki.ueda@v-crews.co.jp

URL : <https://persogla.com/>



若者の地方体験交流 募集概要

きしわだし
大阪府岸和田市 (人口：194,030人)

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験



都市・農・自然が融合した新しいまち
「ゆめみヶ丘岸和田」で、地域の方々と
一緒に、楽しく竹林管理やまちづくり活
動に参加してみませんか。

(体験内容等)

- 竹林整備技術の習得
- 竹林の活用方法の企画・検討 (ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会の会議への参加等)
- まちづくりイベントへの参加・協力

(受入期間) 令和2年8月上旬～令和3年3月 ※要事前相談

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 阪和線 下松駅から南海バスで約20分 (職業能力開発大学校前下車)
南海線 岸和田駅から南海バスで約30分 (職業能力開発大学校前下車)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 環境保全について学んでいる、または興味のある大学生及び大学院生
- 応募締切 随時お問い合わせください (参加人数が多い場合は早期に締め切る可能性があります)
- 費用負担 交通費、宿泊費、飲食費などは自己負担 作業工具などは無償貸出
- 宿泊施設 必要な場合は各自で申込 (紹介可能)
- 食 事 自己負担
- そ の 他 活動の様子などについては下記ホームページをご覧ください

(担当者から一言)

都市・農・自然が融合したまちづくりを目指す「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」では、将来にわたって継続可能な魅力あるまちにするために、どのようなことをすればよいのかを検討し実践しています。
大学生、大学院生の方が上記の体験活動を通じて感じたこと、成長できたことや、今後のまちづくり活動に関する提案などもお聞かせください。たくさんの方の参加をお待ちしています。

(お問合せ先)

ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会 事務局 (岸和田市役所 丘陵地区整備課内)
TEL : 072-423-9658 E-mail : kyuryo@city.kishiwada.osaka.jp
URL : <http://kishiwadamachikyo.com/>



若者の地方体験交流 募集概要

ゆりはまちょう
鳥取県湯梨浜町 (人口：16,794人)

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験
就業体験

地域住民と一緒に、本当の「湯梨浜町(ゆりはま)」を体験しませんか？



高齢化や人手不足、地域の問題を移住定住希望者とともに解消する。地域住民と移住定住者が一緒に町づくり・地域づくりをおこなう。
それが「ゆりはま暮らし体験ボランティア制度」です。

(体験内容等)

- ・地域住民で立ち上げたカフェ又はベーカリーでの販売、接客補助
- ・農業体験（農作物の収穫、出荷作業補助）

(受入期間) 毎年5月以降（体験期間1から3日）

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR山陰本線 松崎駅下車 徒歩5分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 県外に居住し、上記体験を希望する者
- 応募締切 随時
- 費用負担 交通費：全額自己負担
宿泊費：町内の民間のゲストハウス「たみ」を利用される場合は、宿泊費は受入主体が負担します。
食事代：全額自己負担
- 宿泊施設 民間のゲストハウス「たみ」（男女別の相部屋、自炊キッチン有り）
- 食 事 原則自炊（併設するカフェでの軽食等の提供有り（有料））
- その他

(担当者から一言)

ボランティアのお手伝いでみんなが笑顔になります。ボランティアの作業でおいしい農作物が育ちます。たった1日でもOKです。湯梨浜町の暮らしを体験してみてください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 湯梨浜町役場企画課まちづくり推進係 尾川
TEL 0858-35-5311 E-mail ykikaku@yurihama.jp
URL : <https://www.yurihama.jp/soshiki/3/1391.html>



若者の地方体験交流 募集概要

き び ちゅうおうちょう
岡山県吉備中央町 (人口: 11,092 人)

体験種目: 地域づくり活動
農林漁業体験



地方創生の取組に興味がある方、吉備中央町のフィールドワークに参加してみませんか。



(体験内容等)

吉備中央町フィールドワーク: 座学、季節ごとの農業体験 (生で食べれるトウモロコシの収穫など)、米粉工場見学、天体観測地元の食材を使用したピザ作り体験、牛のお世話体験、ジャム作り体験、有害獣の利用促進取組についての講義、ジビエBBQなど。(希望の体験を選択可能)

最終日にフィールドワークで体験した内容を活かした吉備中央町の旅行商品の開発を行い発表。

(受入期間) 7月～11月

(体験期間) 2泊3日～(別途ご相談いただき決定いたします。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

中鉄バス吉備高原都市～岡山天満屋線 岡山駅乗車一きびプラザ下車 (乗車時間約1時間)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 高校生、大学生、大学院生 (9名まで)
- 応募締切 5月31日
- 費用負担 体験内容に応じた費用負担有 (別途ご連絡)
- 宿泊施設 農家民宿 宿泊費 (夕食朝食付き) 8,000円/1人
- 食 事 自炊
- その他 農作業等ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

(担当者から一言)

吉備中央町は昔から農業が盛んな町で、季節に応じた農作物の収穫はもちろん、収穫した農作物を使用した加工品作りなどの様々な自然を活かした体験学習を行っています。過疎地域における行政の取組、地方創生に興味のある方の参加をお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 吉備中央町 協働推進課 山川悠介

TEL 0866-54-1301

E-mail kyoudou@town.kibichuo.lg.jp

URL : <https://www.kibitabi.jp>



若者の地方体験交流 募集概要

かつうらちょう
徳島県勝浦町 (人口: 5,131 人)

体験種目: 地域づくり活動
農林漁業体験



都会とは違うほのぼのとした勝浦町
でいつもと違った日常を過ごしてみ
ませんか?
皆様のご応募をお待ちしておりま
す。



(体験内容等)

- ・農業体験 (柑橘類の手入れと出荷等) ・期間中活動内容や町の情報を SNS で発信。
- ・まちづくり団体と交流 ・地域イベントへの参加と交流 (ひな祭りイベントの飾りつけの手伝い等)

(受入期間) 2021 年 2 月上旬～2 月中旬の期間中の 7 日間 (6 泊 7 日)

(最寄りの交通機関・所要時間)

徳島バス: 徳島駅前から坂本八幡神社前下車後徒歩 1 分
航空機、高速バス等の公共交通機関で来られる際は送迎させていただきます。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農業体験や地域づくりに興味のある若者 (大学生～大学院生まで)、体験終了後レポートの提出
- 応募締切 令和 2 年 12 月末日
参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送
- 費用負担 現地までの交通費: 参加者の自己負担
宿泊代・食事代: 参加者の自己負担 (7,150 円程度/日)
- 宿泊施設 農村体験宿泊施設「ふれあいの里さかもと」
- 食 事 宿泊施設で朝・昼・夕提供 (上記の通り費用は自己負担)
- そ の 他 作業ができる服を用意してください。

(担当者から一言)

勝浦町は、徳島市から車で 50 分程度の「ほのぼの田舎」です。温暖な気候を活かして古くからみかんの栽培が盛んです。自然を満喫できて、四季折々の楽しいイベントもあり、人情味あふれる人々がたくさんいます。まずは訪れてみてください。昨年度は 3 名の学生の方が参加し、おひな様の飾りつけやみかんの出荷の体験をしていただきました。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 勝浦町役場・企画交流課 いしばな こうまき 石花 功貴

TEL 0885-42-2552 E-mail k_ishibana@town.katsuura.i-tokushima.jp

URL: <http://www.town.katsuura.lg.jp/> (詳細につきましては、お電話にてご確認ください。)



若者の地方体験交流 募集概要

体験種目：地域づくり活動
暮らし・イベント体験

なかちょう
徳島県那賀町 (人口：約 8,300 人)



(体験内容等)

- ・「おらの炭小屋」プログラム：炭焼き、木工、丸太一本乗り、昔の山仕事体験(大鋸/ハツリ等)、地域自給のエネルギーと水、住まい(小屋作り)、木の利用方法などが学べます。
- ・「結遊館」プログラム：子どもが育つ環境研究(山村留学を通じた自然/農業/生活体験と中山間地ならではのコミュニティの価値について実践的に学べます)

(受入期間) 活動内容によって異なりますが、基本的に通年、希望日程を元に調整します。(半日～)

(最寄りの交通機関・所要時間)

路線バスは徳島方面からのみ利用可能

徳島駅発＞北川着(所要時間：約 4 時間)

* 詳しくは下記 URL(山の NPO)をご参照ください。

<https://yamanonpo.blogspot.com/2018/07/blog-post.html>

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 おらの炭小屋はどなたでも参加可能、結遊館は山村留学/家族留学希望者優先
- 応募締切 来られる 2 週間前までに連絡下さい。インターンなどグループで来る場合は 2 ヶ月前までに連絡願います
- 費用負担 約 3,000 円/日・人(3 名以上/応相談)
- 宿泊施設 上記「山の NPO」に掲載
- 食 事 原則的に各自用意願います。

(担当者から一言)

1999 年に活動を開始した炭焼きグループ「おらの炭小屋」と子どものための山里ステイ施設「山村留学センター結遊館(ゆうゆうかん)」は、相互に連携しながら山の持続可能な暮らしと、相互扶助の共同体を次世代に伝える活動をしています。小さな集落だからこそひとりの若者の存在は大きく、活躍するフィールドは多様です。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 おらの炭小屋/山村留学センター結遊館・玄番隆行

TEL 0884-69-2717 E-mail info@yuyukan.net

URL：おらの炭小屋 <http://olala.jp> 結遊館 <https://yuyukan.net>



若者の地方体験交流 募集概要

徳島県つるぎ町（人口：8,668人）

体験種目：地域づくり活動
その他



自分自身が楽しみながら無理なく務めることができる役割とは何なのか、一緒に考えてみましょう。

(体験内容等) ・ 地域住民による観光ボランティアが実施するガイドツアーの体験、地域づくり活動に関する意見交換
・ ガイドツアーは、二層うだつの町並みめぐり、または巨樹めぐり

(受入期間) ・ 二層うだつの町並みめぐり：通年（年末年始を除く）（体験期間 1 日）
・ 巨樹めぐり：4～11 月（8 月を除く）（体験期間 1 日）

(最寄りの交通機関・所要時間) 徳島自動車道美馬 IC から車で 10 分、JR 貞光駅から徒歩 7 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 ・ 二層うだつの町並みめぐり：特になし ・ 巨樹めぐり：車両の準備が出来る方
注) 参加者自身が運転するレンタカーや、個人所有の車両は不可

(車両手配) ・ つるぎクラブツアーパンフレット記載のタクシーを手配 ・ 旅行会社をとおしてマイクロバス以下の車両を用意

- 応募締切 1 週間前まで

- 費用負担 ・ 二層うだつの町並みめぐり（90 分）+ 意見交換会（60 分）の場合 2,000 円
1～10 人 2000 円、11～20 人 4,000 円、21～30 人 6,000 円
・ 巨樹めぐり（4 時間コース）+ 意見交換会（60 分）の場合 8,000 円
注) 旅行会社等による車両代にガイド料が含まれる場合は、上記金額はなし

- 宿泊施設 ホテル つるぎの宿岩戸（参加者自己負担）1泊2食付 9,000 円（平常料金）

- 食 事 つるぎの宿岩戸

土日祝日は、地域住民がシェフを務める「ふるさと料理バイキング」（平日でも団体の場合は可）

- そ の 他 歩きやすい靴で参加、二層うだつの町並みめぐりは、アスファルト道を歩く、巨樹めぐりは、未舗装の山道あり

(担当者から一言)

つるぎ町は、扇状地に広がる少しの平野と、切り立った山々に囲まれた場所に広がっており、日本百名山「剣山」への最短ルートである国道 438 号線が通っております。3 町村での合併時に、旧町村の境を超えた地域住民による観光ボランティアガイド団体が誕生しています。国道沿いにある日本一の巨樹や、二層うだつの町並みでは、地域活動が合併前から行われております。これらの観光資源を活用した、交流人口増加を目指す取り組みをご覧ください。

ボランティアガイドの皆さんは、商店主だったり、元教師だったり、都会からの移住者だったり、様々な人生を歩んだ方が、個性豊かなツアーガイドを務めています。元気いっぱい田舎で暮らす皆さんに、ぜひ会いに来てください。

(お問合せ先)

団体名 つるぎ町役場 担当部署 産業経済課 担当者名 吉本 晃子
TEL：0883-62-3111（代） E-mail：syoukou@tsurugi.i-tokushima.jp
URL：<https://www.town.tokushima-tsurugi.lg.jp/docs/15889.html>



若者の地方体験交流 募集概要

まつのちょう
愛媛県松野町 (人口 : 3,898 人)

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験



(体験内容等)

農業体験・・・特産品の桃や柚子の収穫作業など

観光施設での活動・・・道の駅（淡水魚水族館及びガラス工房等）での研修、観光ツアーガイド育成プログラムの地域内実践者による指導のもと、地域資源を活かした様々なまちづくりの取組を体験。また外から見た本町の魅力を発見していただき、まちづくりへの評価・提言。

事業終了後、レポートによる提言の提出及び町長や関係者を交えた報告会を開催。

(受入期間) ○農業は作物により期間問い合わせが必要

○道の駅は随時可能（1週間～1ヶ月程度）

(最寄りの交通機関・所要時間)

松野町役場まで JR 予土線松丸駅下車徒歩3分、宇和島自動バス虹の森公園前行き松野町役場前下車すぐ

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 まちづくりに興味のある方
- 応募締切 随時
- 費用負担 現地までの交通費・宿泊代（食事代）：自己負担経費（旅費、宿泊費）の10万円までは、松野町単独補助金にて費用補助
- 宿泊施設 受入れ農家、農林漁家民宿または公共施設
- 食 事 受入れ農家、農林漁家民宿等
- そ の 他 民泊に必要なもの、動きやすい服装

(担当者から一言)

「小さな町の大きな挑戦」をスローガンに地域資源を最大限に活かしたまちづくりに取り組んでいます。あなたの提言が町の施策に反映される可能性大です！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 愛媛県松野町 ふるさと創生課 石田和弘

TEL 0895-42-1116 E-mail k-ishida@town.matsuno.ehime.jp

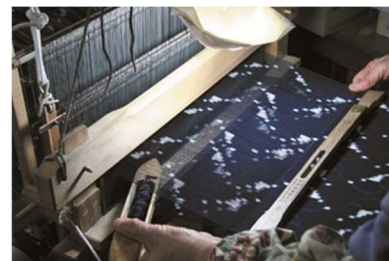
URL : <http://www.town.matsuno.ehime.jp/> (詳細につきましては、お電話にてご確認ください。)



若者の地方体験交流 募集概要

ひろかわまち
福岡県広川町 (人口 : 19,627 人)

体験種目 : 地域づくり活動
就業体験



ひろかわ新編集

HIROKAWA NEW EDITION — それは未来を作る組み合わせ

◀申込みはこちら

ページ内 申込みフォームより

※お申込みの前に一度ご連絡ください。

(体験内容等)

- ・伝統工芸や農業の見学、体験
 - ・地域イベントへの参加 ・町職員や定住支援員、地域おこし協力隊との交流 など
- * 内容に関しては、受入の時期や期間、参加者のご希望などをお打ち合わせしながら調整します。

(受入期間) 随時 (お試し居住制度 1～19泊20日まで)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- ・JR 荒木駅よりタクシーで 20 分程度 ・西鉄バス 川瀬バス停からタクシーで 10 分程度
- ・堀川バス久留米線 吉常バス停より徒歩 10 分 * 詳しくはご相談ください。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 広川町への移住を検討していること
- 応募締切 利用希望日の 10 日までに申請 (HP より)
- 費用負担 交通費 : 参加者負担 食事代 : 参加者負担
宿泊費 : 現在料金改正中のため詳細はお問い合わせください。
- 宿泊施設 ゲストハウス Orige (広川町移住定住促進センター兼滞在交流施設)
- 食 事 Orige 共有キッチンにて自炊
- そ の 他 滞在期間中、自身のブログ等で情報発信にご協力いただくか、もしくは広川町の広報、HP、SNS 等での情報発信にご協力をお願いします。

(担当者から一言)

イチゴ、花卉、八女茶などの農業、久留米餅、八女すだれなどの伝統工芸、町の中心を走る高速道路を中心に発展した工業団地。広川町は、いろいろなものづくりが息づく町です。自然豊かでありながら、福岡都市部までの車で 60 分かからない。穏やかな雰囲気を感じながら、ゆっくりと過ごしてみませんか？お気軽にご相談ください。

(お問合せ先)

広川町役場 政策調整課 政策調整係 担当 : 黒田康裕

TEL : 0943-32-0106 (直通) E-mail : seisaku@town.hirokawa.lg.jp

URL : <http://www.town.hirokawa.fukuoka.jp> (広川町役場 HP)

<https://hirokawa-newedition.org> (地方創生プロジェクト : ひろかわ新編集 HP)



若者の地方体験交流 募集概要

いまりし
佐賀県伊万里市 (人口 : 54,569 人)

体験種目 : 地域づくり活動
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

○ 「フットパス」体験 (※)

(※) 「フットパス」とは、森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことで、これを実施することによる交流人口の増加で、地域経済の活性化、地域資源の保全、伝統文化の保存ができる。
現在、大川野コース、城・峰コース、駒鳴コース、楠久・津コースの4コースがあり、そのほか新たなコース作りも進められている。

(受入期間) 随時参加可

(最寄りの交通機関・所要時間)

- ①大川野コース : J R 筑肥線 大川野駅前発着・2時間30分
- ②城・峰コース : いまりんバス 城バス停下車徒歩1分 城公民館発着・1時間30分～1時間40分
- ③駒鳴コース : J R 筑肥線 駒鳴駅下車徒歩6分 駒鳴運動広場発着・2時間30分
- ④楠久・津コース : M R 楠久駅下車徒歩10分 本光寺駐車場発着・2時間30分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 老若男女問わず参加可 / 小雨決行 (荒天の場合は中止)
- 応募締切 開催日の1週間前までに申し込んでください。
- 費用負担 大人2,000円 / 子供 (中学生以下) 1,000円
(下記記載の食事代、傷害保険料を含む)
- 宿泊施設 大川町 (大川野コース及び駒鳴コース) は民泊施設あり
- 食 事 縁側カフェとして、フットパス弁当・地元の果物等を提供
- そ の 他 歩きやすい服装・靴着用、飲み物持参

(担当者から一言)

フットパスは、地域に昔からあるありのままの風景を歩くことでその地域の魅力を再発見することができるほか、地域住民との交流も図ることができる観光ツールです。是非、体験してみてください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 伊万里フットパス協会 会長 野崎 忠秋 (のざき ただあき)
TEL 090-5926-3777 E-mail t-nozaki@m2.ihn.jp

若者の地方体験交流 募集概要

つしまし
長崎県対馬市 (人口 : 30,271 人)

体験種目 : 地域づくり活動



現場で学ぶ SDGs



Education
2030

対馬市 SDGs 実践塾

(体験内容等) ・地域づくり、環境保全の最前線レクチャー & ふりかえりグループワーク
・環境保全活動体験、農林漁業体験、島暮らし体験
・課題グループワーク & 塾長 (市長) へのプレゼンテーション

(受入期間) 令和2年8月下旬～9月上旬の3泊4日程度 (開催日詳細未定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- ・海路・・・博多港からフェリーで4時間30分 (厳原港)、博多港からジェットフォイルで2時間15分 (厳原港)
- ・空路・・・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で約35分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 SDGsに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを取りながら現場で学ぶ意欲 (定員30名)
- 応募締切 令和2年7月頃
- 費用負担 対馬までの交通費、参加費 (1万5千円)。参加費に傷害保険料、テキスト代、宿泊費、食費含む
- 宿泊施設 農林漁家民宿 (参加費に含まれます)
- 食 事 参加費に含まれます
- その他 募集の詳細は4月～5月上旬までの間に「対馬市域学連携ポータルサイト」に掲載します。

(担当者から一言) 対馬市では、SDGsに本格的に取り組む予定です。国境離島である対馬は、過疎化といったローカルな地域課題だけでなく、グローバルな問題を数多く抱えています。特に海ごみ (海洋プラスチックごみ) が日本で一番多く流れ着く島であり、気候変動の影響も深刻化しつつあります。“グローバル”な視点で国際協調しながらSDGsに本気で取り組めば、次世代にわたって森里海の恵み (= 生態系サービス) を享受し、島でいつまでも安心して暮らすことができると考えています。学生の皆さんには、対馬という「場の教育」を通じ、物事のリアリティに触れ、自身のマインド・モチベーションを高めるとともに、SDGs達成のための考え方や手法を現場目線で学びとってほしいと思っています。そのことで、皆さんがSDGsの旗手となり、持続可能な社会を担う真のグローバル人材として活躍してほしいと願っています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 対馬市しまづくり推進部 しまの力創生課 係長 前田剛

TEL : 0920-53-6111

E-mail : ikigaku@city-tsushima.jp

URL : <http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

かごしまし
鹿児島県鹿児島市（人口：約 600,000 人）

体験種目：地域づくり活動

マグマシティ・鹿児島市のまち・人の熱量を体感してみませんか？

ここでは、“まちを楽しもう”とするムーブメントが起きています。



（体験内容等）

- 東京都内で鹿児島市のことを知り、座学講座 4、5 回程度
- 鹿児島市内での現地実習 1、2 回程度
（桜島島内や市街地を巡るほか、まちづくりやまちを楽しむ活動を行うグループとの交流、鹿児島暮らしの体験 など）
- 鹿児島市との新たな関わり方プランの発表 など

（受入期間） 都内での座学 9月～2月の間で4、5回程度 現地実習 10月～2月の間で1、2回程度

（最寄りの交通機関・所要時間） 会場未定

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 首都圏に住み、鹿児島市に関心のある人
- 応募締切 8月頃に応募予定
- 費用負担 未定
- その他 詳細は7、8月頃公開予定

（担当者から一言）

鹿児島市は、「あなたとわくわく マグマシティ」を合言葉に、鹿児島市に想いを寄せる市外の皆さんとともに、まちの未来を紡いでいこうという思いで、まちづくりに取り組んでいます。“マグマ”は、鹿児島の象徴・桜島と、その環境が生み出した、まちの雰囲気や市民の温かく、ときに熱い心、未来を紡ぐ力などを表現しています。

また、若い世代が、まちを楽しもうとする新たなムーブメントも生まれているので、ぜひ、鹿児島市を訪れて、その熱量を体感してください。第2のふるさとと呼べる場所として、ぜひ鹿児島市へ。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 鹿児島市広報戦略室 石原

TEL 099-803-9547 E-mail kou-senryaku@city.kagoshima.lg.jp

URL : <https://www.city.kagoshima.lg.jp/kouhousenryaku/cangokoto/index.html>

